

学内ニュース

学内共同利用施設の ISO14001認証取得

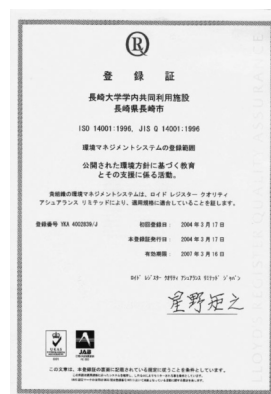
学内共同利用施設（保健管理センター、先端生命科学科学研究支援センターのアイソトープリソース開発分野、大学教育機能開発センター、機器分析センター、地域共同研究センター及び環境保全センター）は、3月17日(木)付けで環境マネジメントに関する国際規格 ISO14001の認証を取得しました。

平成12年度に学内共同利用施設等協議会において ISO14001の認証取得に向け取り組むことが決定され、平成13及び14年度の教育研究改革・改善プロジェクト経費の補助を受けたことにより、認証取得の気運が一気に高まりました。

具体的には、平成13年度は既に認証取得している大学（京都工芸繊維大学、信州大学工学部、熊本大学薬学部、京都精華大学、早稲田大学）の状況調査と、センター合同の ISO14001に関するセミナー、各センターの環境現状調査を行い、平成14年度は、各センターのセンター長及び環境マネジメントシステム担当者による環境管理委員会を設置し、学内共同利用施設の環境マネジメントシステムを構築しました。環境マネジメントシステムは平成14年度末から運用を開始して1年後、2段階の審査を経て認証取得に至りました。長崎大学においては、環境科学

部の認証取得から約1年遅れの認証取得です。学内共同利用施設として認証取得できたことは、今後大学全体として環境マネジメントシステムの構築を考える場合には、その対応が容易となると自負しています。

今後、国立大学法人化に伴い、大学の個性化と経営の効率化が問われることになることは周知のことです。そのためには、学外へのパフォーマンスと経営の効率化の為に、ISO14001の認証取得が必要不可欠であると考えられます。さらに、労働安全衛生管理体制の確立も急務となっており、労働安全衛生管理と環境マネジメントシステムの接点は多数あり、環境マネジメントシステムを利用した労働安全衛生管理システムが構築できると考えられます。今後、長崎大学全体として、ISO14001の認証取得に向け取り組まれることを期待します。



(環境保全センター)